

ロンドン、2018年4月24日

アルセロールミッタルポーランド向け LD 転炉交換工事を完工

- ドンブロヴァ・グルニチャ製鉄所で炉体交換工事を完工し、予定通り稼働を開始
- 1基目は既に2016年11月末に稼働開始済み
- メンテナンスフリーの転炉サスペンションで長期の耐用年数を実現

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は、アルセロールミッタルポーランド (ArcelorMittal Poland S.A.) 社のドンブロヴァ・グルニチャ製鉄所向けとして2基目(3号機)のLD (BOF) 転炉交換工事を完工して仮検収書を受領し、転炉は稼働を開始しました。2016年11月に稼働を開始した1号機と同様に、3号機はターンキー方式で建設されました。今回の交換工事は、2015年第3四半期にオプション工事として受注していたもので、耐用年数が長く熱変形による負荷を最小限に抑えるメンテナンスフリーのサスペンション「ヴァイコン・リンク 2.0 (Vacon Link 2.0)」が採用されています。

ドンブロヴァ・グルニチャ製鉄所の3号機は耐用年数に達したため、既に完工した1号機と同様に、当社はサスペンション、炉体およびトラニオンリングを納入し、ベアリングとエンクロージャーも一新しました。今回の契約には、既存炉体の撤去作業の他、新設備の組み立てと据え付けも含まれており、これらは現地のコンソーシアムパートナー企業であるZKS社 (ZKS Ferrum S.A.) が担当しました。

アルセロールミッタルポーランド社は、ポーランド南部で6つの工場を運営する大手鉄鋼メーカーで、形鋼、レール、建材、輸送および採鉱事業向け鉄鋼製品に加えて自動車や家電業界向け鋼板など、取り扱い製品は多岐にわたります。ドンブロヴァ・グルニチャ工場は、ポーランド南部のクラクフ市近郊にあって大型形鋼を中心に生産しており、120メートル長のレールを生産できる世界有数の工場です。



プライメタルズテクノロジーズがアルセロールミッタルポーランドのドンブロヴァ・グルニチャ製鉄所に納入したLD（BOF）転炉

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューション

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2018041598jp

ンを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com